

り其他兩路共無名の小沙漠到る所に散在し、殆んど枚舉に違あらざるなり。

二 戈壁の意義

瀚海と戈壁

新疆より蒙古に亘れる一帯の大沙漠を、古來之れを瀚海と呼び又流沙と唱ふ、是れ漢人の稱する所にして、其の狀況光景に依りて斯くは唱道せしものなり。而して今は汎く之れを戈壁と稱す。此の戈壁の意義に就て、一言せざるべからざるもの有り。何ぞや曰く、世人は一般戈壁を以て、沙漠の名稱と爲し、堂々たる地理書中にも『戈壁の沙漠』若くは『大戈壁の沙漠』と書するもの有り是れ誤謬も亦甚しと謂はさるべからず。戈壁は元來蒙古語にして沙漠の義に同じ。故に沙漠即ち戈壁にして、戈壁は即ち沙漠と譯するの適切なるを覺ゆ之れを戈壁の沙漠と稱呼するは噴飯の至りと謂ふべし。畢竟戈壁の意は、五穀菜蔬類の生育し能はざる地の總稱とす。故に新疆の沙漠は、寧ろ沙漠と稱するよりも蒙古語其のまゝ戈壁と稱するの優れるに如かざるなり。

戈壁の意義

五穀菜蔬の生育せざる戈壁は果して如何なる状態に在るか。

三 沙漠とは如何なるものぞ